

「なぜ、運動会を延期するのか？」

まずは、実施・延期の判断が遅くなってしまい、大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

【理由1】

◎ これまでよりも、感染防止対策のレベルを、相当上げなくてはならない状況になっているから。

これまでの従来のウィルスであれば、迷い無く実施に踏み切りました。

しかし、「変異ウィルス」の増加により、これまでの感染防止対策では防ぎきれない状況になってきています。感染防止対策をしながら「日常」の生活をしていても、感染が拡大している中で、運動会という「非日常的」な交流を伴う活動を行うのは、リスクが高いと判断しました。

【理由2】

◎ 「今」じゃなくてもできるから。(延期できるから)

延長せずに、無観客にして保護者の方にはリモートで見てもらおうということも考えました。しかし、リモートでは、全ての子どもをまんべんなく映すと言うことは不可能ですし、保護者の方も実際に校庭に来て「自分の子どもを自分の目で見たい」のではないかと判断しました。

【理由3】

◎ 一番大変な思いをしている医療従事者のことを考えたから。

これまでですと、学校行事ですから、学校に関係する子ども・保護者・教職員等のことだけ考えればよかったです。今回はそれでいいとは思えませんでした。県内でも感染者が急増し、病床使用率も約90パーセントと逼迫している中で、毎日最前線で頑張っている医療従事者のことを考えると、「これ以上負担をかける訳にはいかない」と思い、今はやるべきではないと判断しました。

今回の判断については、批判があって当然です。「周りの学校がやっているのに、どうしてやらないの？」と思う方がいて当然なのです。私もどちらが正しいかは分かりません。

ただ、今回の判断をする際に大切にしたのは、「自分たちで考え、自分たちで判断する」ということです。「まわりがやるから・・・」という理由で判断することはやめようと思いました。なぜなら、本校の子どもたちも、「自分で考え、自分で判断できる人間」に育てて欲しいからです。そして、そういう子どもを育てるには、まず、私たち大人が「そうあらねば」と思っています。

もっともらしいことを書きましたが、判断が遅くなり皆様にご迷惑おかけしたことは間違いの無い事実です。重ねてお詫びすると共に、ご理解とご協力をお願い致します。

明健小学校長 武藤賢一郎